

第73回原状回復対策協議会について

現在、青森県境不法投棄現場において、撤去された廃棄物の下にある汚染された地下水の浄化などに取り組んでいます。去る3月17日（土）に開催された協議会の内容についてお知らせします。

県境不法投棄問題に関する記録映像（DVD）の製作について

県では、この不法投棄問題を風化させずに教訓として後世に語り継いでいくため「県境不法投棄事案の教訓を後世に伝えるための検討ワーキンググループ」からの意見を取り入れて、発覚当初から今までの記録をまとめた映像（DVD）を作成しました。

このDVDは、関係機関に配布するほか、インターネット上でも閲覧できるようにする予定です。4月以降に二戸保健福祉環境センターでもDVDを貸し出しますので希望する方はご連絡ください。

〈DVD映像の一部〉



環境（定期）モニタリングについて

場内地下水及び周辺表流水について、有機溶媒や重金属類などの有害物質の調査を行っています。場内については、いくつかの地点で1,4-ジオキサンや水銀等の有害物質について環境基準の超過がみられますが、周辺表流水等では、これら物質の環境基準の超過はありません。

なお、環境基準を超過した地下水は、浄化処理後に場外へ放流しているため、周辺環境への影響はありません。

2018年度の事業内容について

2018年度の事業について、以下のとおり実施することが了承されました。

- 1,4-ジオキサンについては、西側県境部など濃度が高い値で継続している地点で、散水と地下水の汲み上げによる土壌の洗浄作業を進めます。
- 一部の場内地下水から検出された水銀については、水銀が検出された井戸周辺の土壌調査を実施し、その結果を見ながら必要な対策を設計していきます。
- 場内地下水と周辺環境の水質モニタリング調査を引き続き実施し、対策の効果や汚染の広がりが無いことを確認していきます。
- 「ワーキンググループ」の取組として、現場の雪解け直後から、アカマツ、ミズナラ、ウルシを土壌改良を施した上で再度植栽し、森林再生への適性を調べます。

第74回原状回復対策協議会を次のとおり開催する予定です。

どなたでも御自由に傍聴できます。

日程 2018年6月9日（土）14:20から

場所 二戸地区合同庁舎 1階 大会議室（二戸市石切所字荷渡6-3）